



生き方部会だより

Vol. 67

2018. 1. 31

文責：久保田勝己

(事務局長)

次年度へ向けて

2018年も1ヶ月ほどたちました。部会員の皆様には、活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。

次年度は、レポート交流をおこなうことをお伝えしてきましたが、その形式についてお知らせします。

提出していただくのは4月以降ですので「もう?」「こんなに早く?!」という声が聞こえてきそうですが、今から実践を進めてその経過をレポートにする方もいらっしゃるかと思われましたので、お知らせします。

第1分科会（ボランティア）と第2分科会（コミュニケーション）では形式が異なりますので、留意事項等をご覧になり作成を進めてください。不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

留意点

- ・提出は来年4月以降の予定。提出先、提出方法など詳細については新年度体制がスタートしてからホームページ、部会だより等でお知らせします。
- ・レポートはA4縦型で作成する（1枚以上）。
- ・学校単位での作成でも可。ただし、グループ交流をすることもあるので、全員で作成し、一人ひとりが内容を把握すること。
- ・個人情報の取り扱いについては細心の注意を払う（必要があり児童生徒の写真を載せる場合は、①解像度を落とす ②一人の写真は使用しない ③目隠しやモザイクを入れない）。

レポート形式

第1分科会（ボランティア）

石教研 課題部会 生き方部会 第1分科会レポート

【学校名】 ○○市立○○○小・中学校

【氏名】 □□ □□（連名でも可）

1. ブラインドサッカーの振り返り

2. 講演と実演を踏まえた実践など

第2分科会（コミュニケーション）

〇〇市立〇〇小学校	◆◆ ◆◆◆	}	学校単位の場合は 分科会員の連名で
	△△ △△		
	□□ □□		
【テーマを選択】			
A：子ども同士をつなげる方法や実践例			
B：子どもと教師をつなげる方法や実践例			
C：困っていること、部会員の皆さんに聞いてみたいこと →コミュニケーションについてのアイデアをもらう			
【実践例】			
簡単でよいです。詳しくは研究協議会のレポート交流でお話してください。			
【困っていること(成果や課題でも)】			
交流の中でみなさんに聞いてみたいこと、成果や課題でも。			
【参考資料やおすすめ資料】			
・書籍名やインターネットのサイト名			
・教材や教具の名称			
など			

レポート作成に関わって

1. 事例検討ではなく、あくまでも実践や交流の資料となるものです。
2. 学校単位でも個人でのレポートでもよいです。学校単位の場合は、全員がレポートの内容（とりくみの経過など）を把握して、グループ交流の際に学校のとりくみを紹介できるようにしてください。（グループ交流では学校単位で一緒になるわけではありません）。
3. 個人情報に記載しないようにしてください。